

---

9月10日（木） 19:00～21:30

## 【テーマ】 思想・哲学1

### 【タイトル】

農山漁村の民衆精神 ～仕事観・労働観～

### 【概要／狙い】

人生の長い時間を費やす仕事や労働。

仕事や労働の在りようは、その人間の幸福度に密接に関わります。

我々は、仕事や労働とは何か？について考えたことがあるでしょうか？

稼ぐため、生活していくためだけに、仕事や労働を強いられている面はないでしょうか？経済第一優先の労働観を越えるためのヒントは、内山氏の語る「温かい貨幣と冷たい貨幣」「劣化する貨幣」などにあるかもしれません。

日本の農山漁村での仕事や労働に対する考え方、価値観を紐解きつつ、貨幣とは何なのか？

日本の民衆が持っていた仕事観・労働観、そして対価としての金銭との関係性とはどのようなものか？

「おすそ分け」の贈与経済から、近年注目されているソーシャルビジネスまで、私たちが未来に求めるべき仕事の在りようについて考えます。

### 【場所】

オンライン（Zoom）

---

## 【講師】

内山 節 / 哲学者

## 【課題図書】

『半市場経済 成長だけでない「共創社会」の時代』

著者：内山節（角川新書）

## 【参考図書】

『戦争という仕事』

著者：内山節（信濃毎日新聞社）

## 【参考写真】

